



<p>研修名</p>	<p>令和5年度 ゲートキーパー養成研修 こころの応急処置を学ぼう ～メンタルヘルス・ファーストエイド研修～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学分野 准教授 加藤 隆弘 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和6年3月13日(水) 14:30~16:30</p>
<p>開催場所</p>	<p>総合保健福祉センター(アシスト21)6階 視聴覚室</p>
<p>参加者数</p>	<p>北九州市民 32名</p>
<p>研修内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス・ファーストエイドやうつ病・自殺に関する基礎知識、傾聴の基本的技術など、丁寧かつ分かりやすく先生に説明していただきました。 ・参加者は熱心にメモを取りながら、先生のお話に聞き入っていました。 ・メンタルヘルス・ファーストエイドに基づく対応を学ぶために、2人1組で実践ロールプレイも行いました。参加者同士で活発に意見交換している姿がみられ、また積極的に質問される方もおられ、活気にあふれた研修会となりました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴の実践が役に立ちました。(70代) ・講義が非常に分かりやすかったです。(30代) ・メンタルヘルス・ファーストエイド研修を受けた人が地域にたくさんいることで、偏見が減ると思いました。(40代) ・接し方のポイントを学べたので、実践してみようと思います。また参加したいです。(40代) ・興味深く講義を聞き、あっという間に時間が過ぎました。(60代) ・ロールプレイがとても参考になりました。(60代) ・共感、傾聴は相手の心をひらくきっかけになると感じました。参加してよかったです。(40代)